

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## &lt;施工の前に&gt;

**警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

## &lt;施工上のご注意&gt;

**注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。  
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

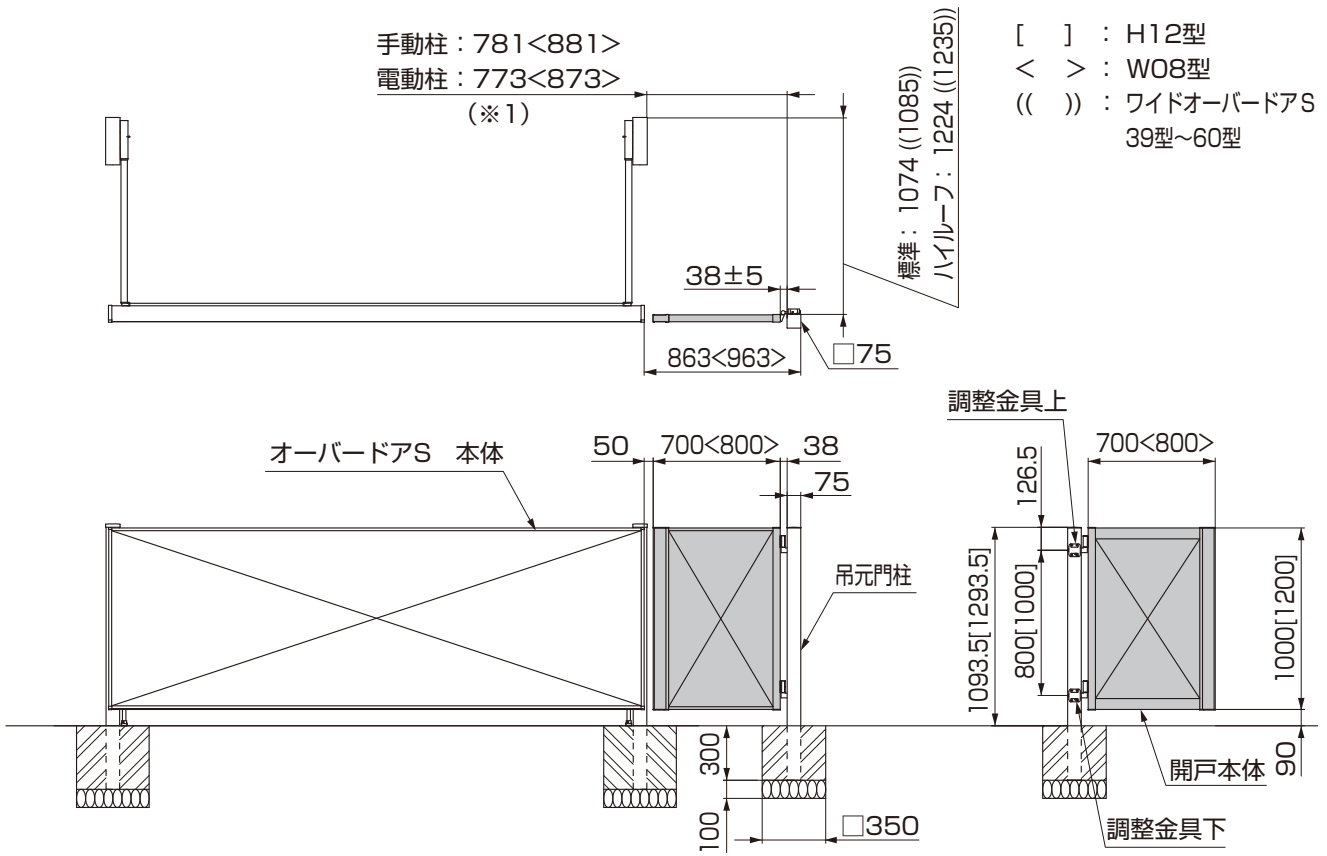
## ■梱包明細表

### 【1】開戸本体セット

名 称	略 図	員 数
開戸本体		1
レバー錠		1
シリンダーキー		3
ヒンジ上		1
ヒンジ下		1
ヒンジキャップ		2
ヒンジカバー		2
落とし棒受け		2
吊元ストッパー		1
吊元ストッパー高さ調整スペーサー		5
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

# 1. 基本寸法図 ※図は、右勝手の場合を示します。

## 1-1 基本寸法図

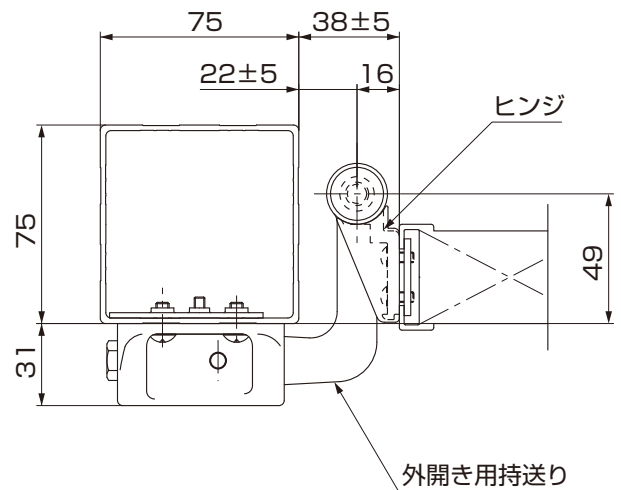
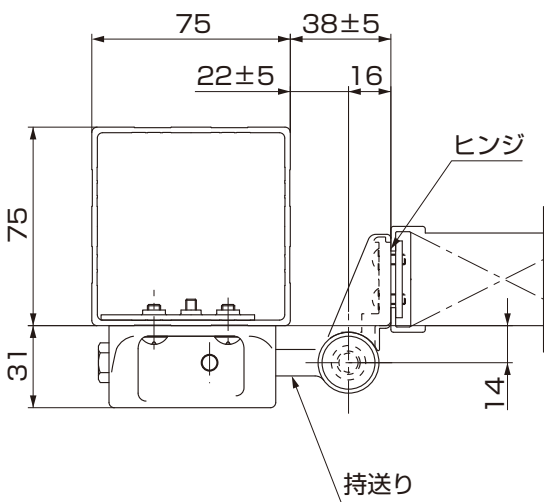


※1：開戸を外観右側設置の場合、手動タイプ・1モータータイプは手動柱を、2モータータイプの場合は電動柱の寸法で施工してください。  
 外観左側設置の場合、手動タイプは手動柱を、1モータータイプ・2モータータイプの場合は電動柱の寸法で施工してください。

## 1-2 門柱納まり図 ※施工寸法は内開き外開き共通です。

### (1) 内開き用の場合

### (2) 外開き用の場合



## 2. ヒンジの取付け ※図は、右勝手内開きを示します。

### 2-1 ヒンジの取付けの前に

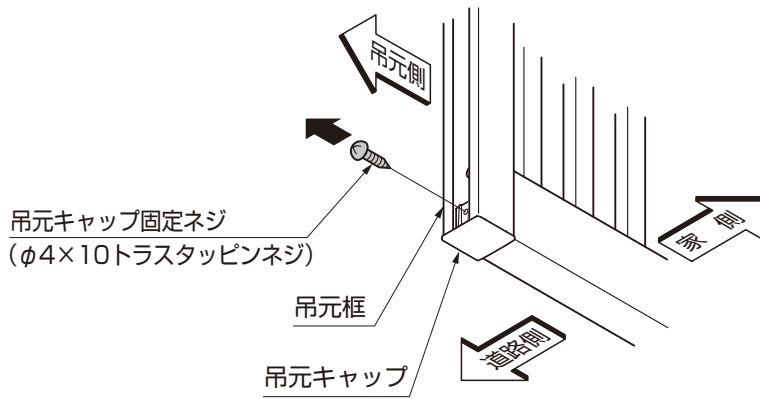


図2-1

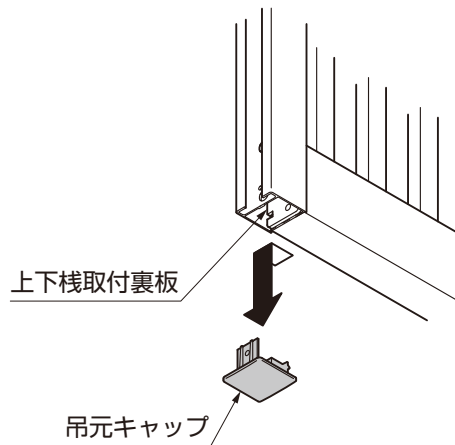


図2-2

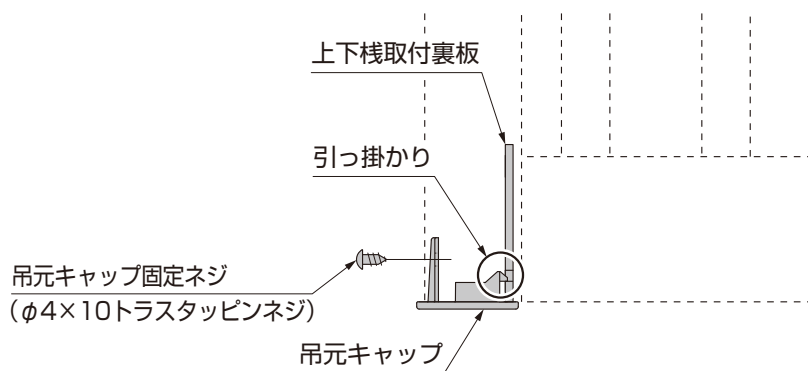
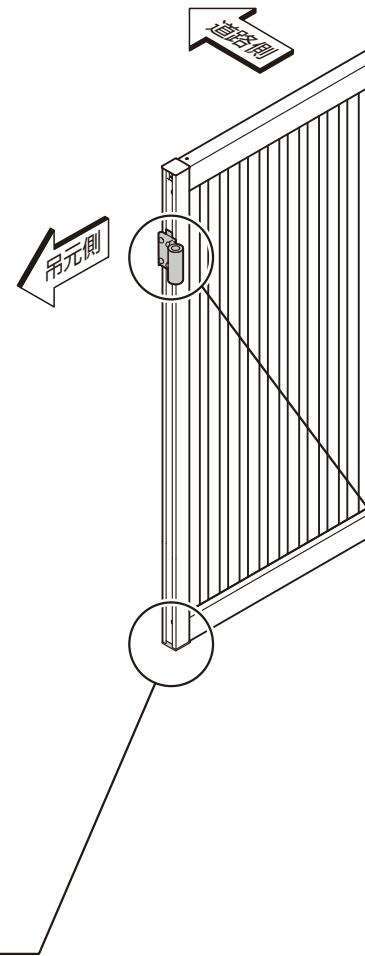


図2-3 ツメの引っ掛かり

- ①「吊元キャップ固定ネジ」を吊元キャップから取外してください。(図2-1参照)
- ②吊元キャップをスライドさせ、ツメの引っ掛かりを外しながら引き抜いてください。(図2-2、2-3参照)

#### 🔑 ポイント

- ヒンジの取付け、吊元ストッパーの取付けの後に、再び吊元キャップを取付けてください。



## 2-2 ヒンジ上の取付け

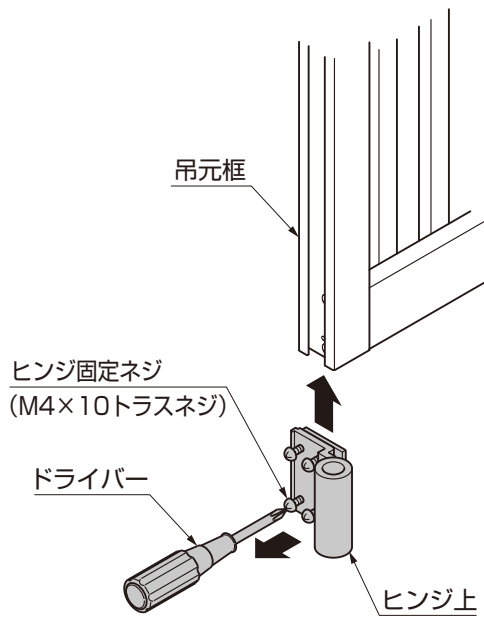
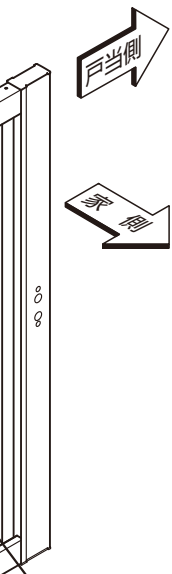


図2-4

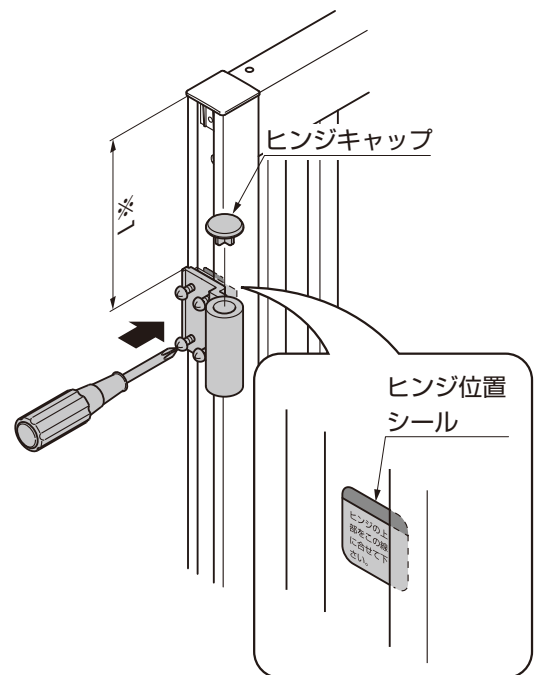


図2-5

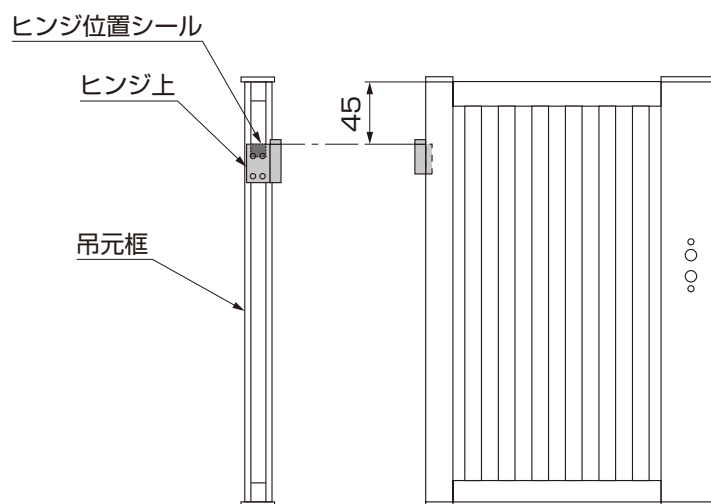


図2-6 ヒンジ上の取付け位置

- ①「ヒンジ固定ネジ」をゆるめて、ヒンジ上を吊元框に下端から挿入してください。(図2-4参照)
- ②ヒンジ上の上端をヒンジ位置シールの上端に合わせ、「ヒンジ固定ネジ」を締付けてください。(図2-5、図2-6参照)
- ③ヒンジキャップをヒンジ上に取付けてください。(図2-5参照)

### ポイント

- 吊元框の上端からヒンジ上端の寸法が45mmであることを確認してください。(※1)

## 2. (つづき)

### 2-3 ヒンジ下の取付け

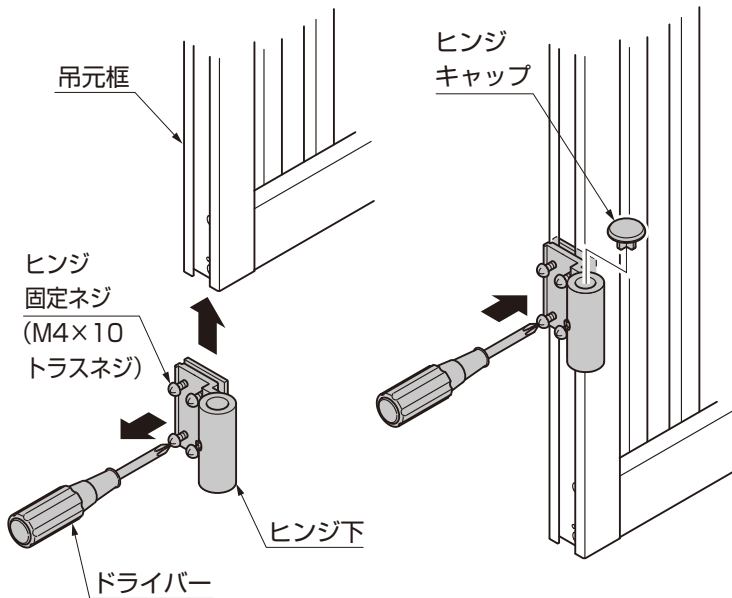


図2-7

図2-8

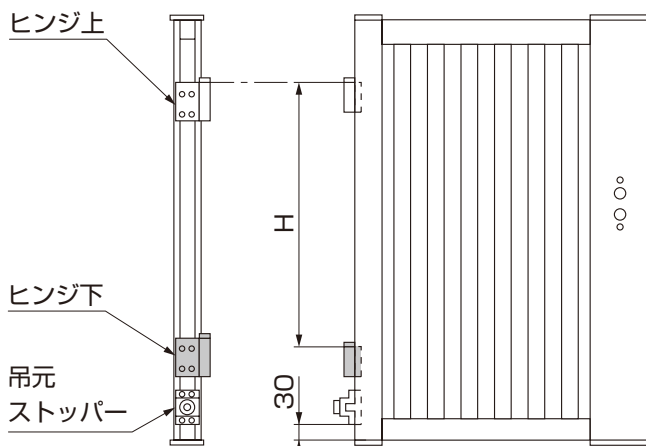
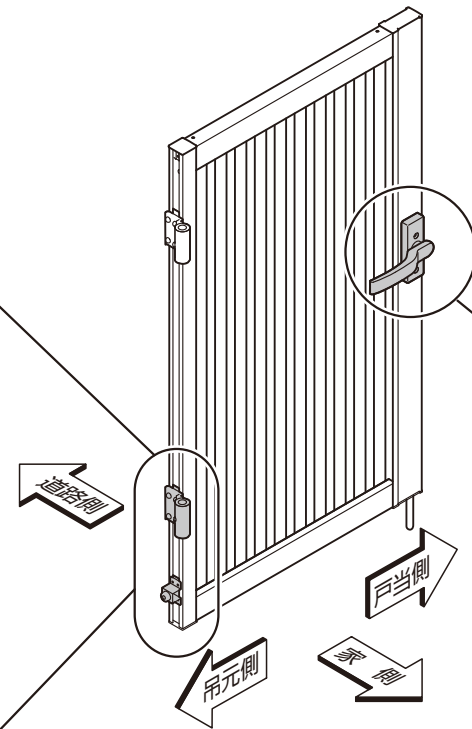


図2-9 ヒンジ下の取付け位置

表2-1 ヒンジ取付け寸法

呼称	H
H10	800
H12	1000

- ①「ヒンジ固定ネジ」をゆるめて、ヒンジ下を吊元框に下端から挿入してください。(図2-7参照)
- ②表2-1を参照してヒンジ下の位置決めをし、「ヒンジ固定ネジ」を締付けてください。(図2-8、2-9参照)
- ③ヒンジキャップをヒンジ下に取り付けてください。(図2-8参照)



### 2-4 吊元ストッパーの取付け

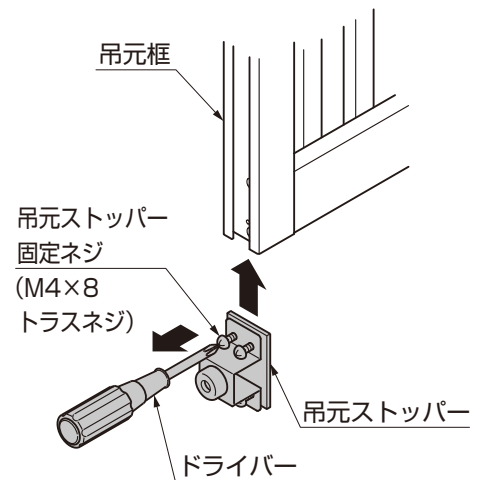


図2-10

- ①「吊元ストッパー固定ネジ」をゆるめて、ヒンジ上を吊元側へ挿入してください。(図2-10参照)
- ②吊元ストッパーを指定の位置まで引き上げ、「吊元ストッパー固定ネジ」を締付けてください。(図2-11参照)

#### 補足

- 外開き用持送りをを使用する場合、吊元ストッパーは、取付けてください。

### 3. 錠の取付け

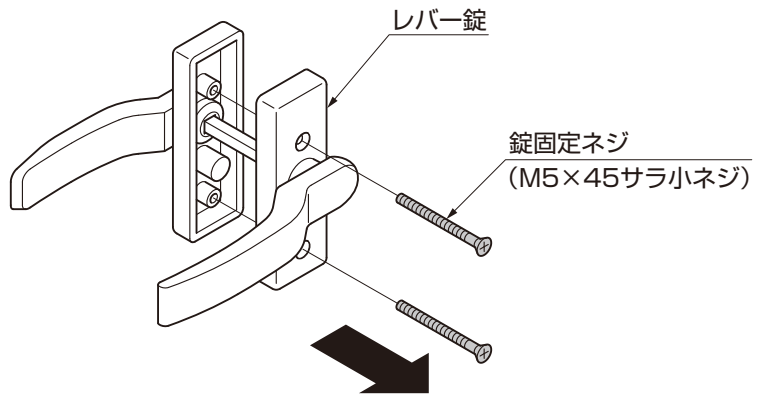


図3-1

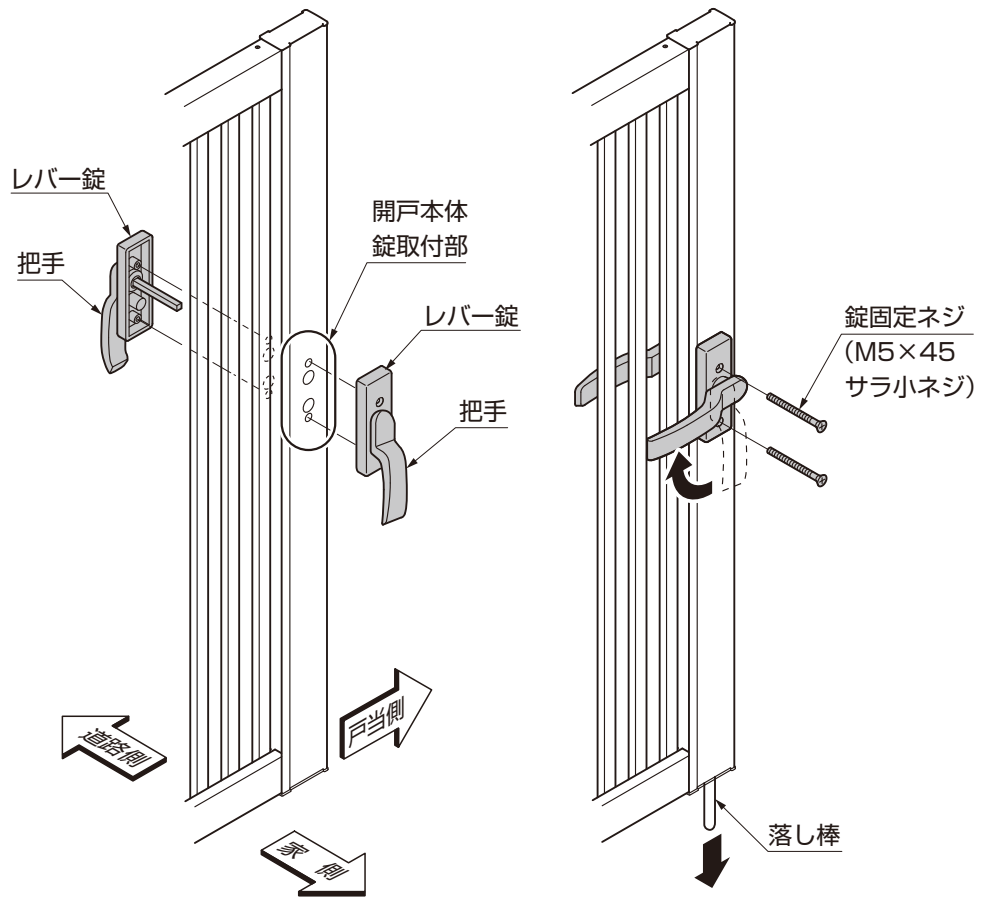


図3-2

図3-3

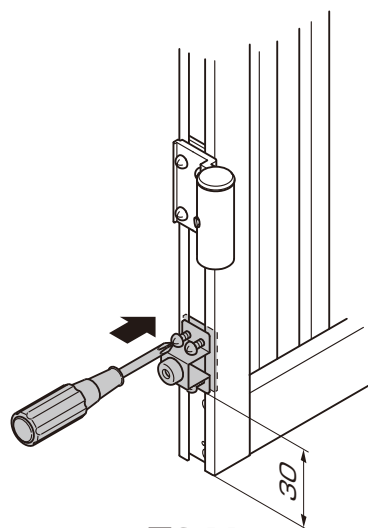


図2-11

元框に下端から挿入してください。

「レバー固定ネジ」を締付けてくだ

ヒンジ下の上側の任意の位置に

- ①「錠固定ネジ」をレバー錠から取外してください。(図3-1参照)
- ②把手を下に向けた状態でレバー錠を開戸本体錠取付部に取付けてください。(図3-2参照)
- ③把手を横に向けて「錠固定ネジ」でレバー錠を固定してください。(図3-3参照)

#### 補足

- 把手を横に向けると、落し棒がさがります。
- 落し棒付錠本体は、工場出荷時に開戸本体へ組付け済みです。

## 4. 落とし棒の調整

### 4-1 調整の前に

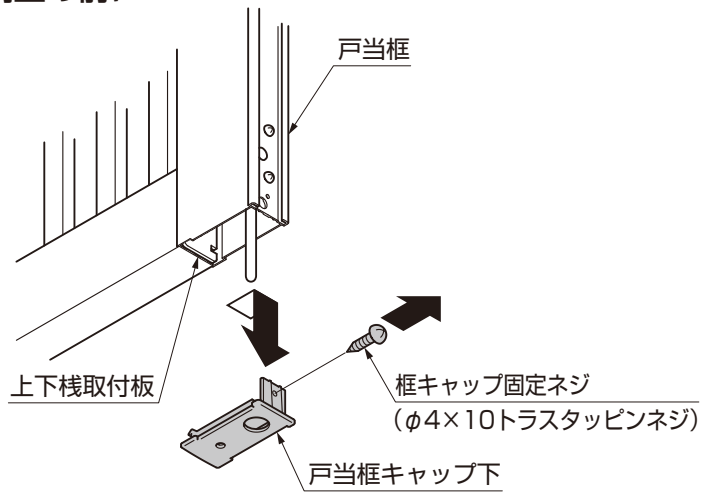


図4-1

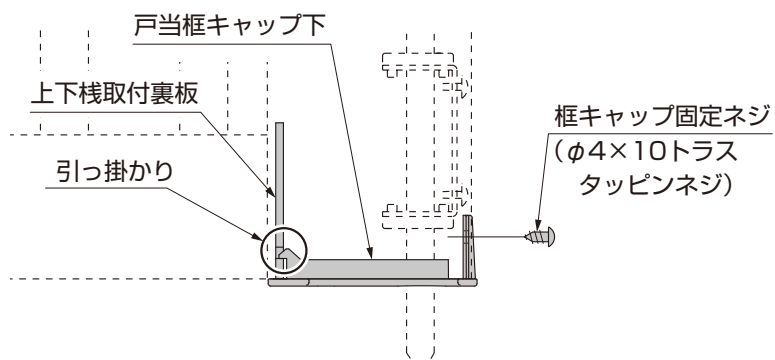


図4-2 ツメの引っ掛かり

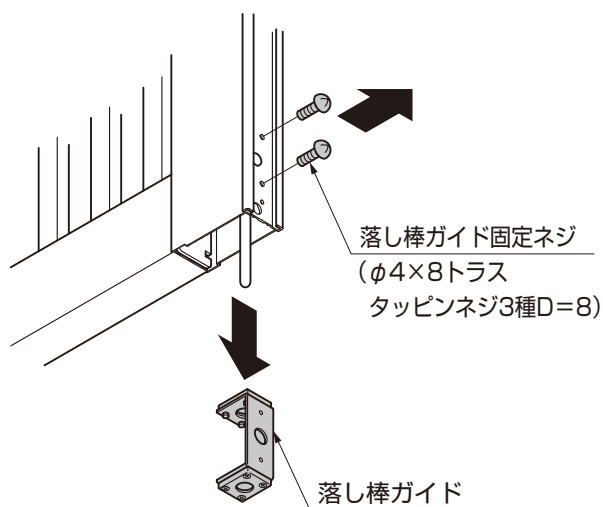
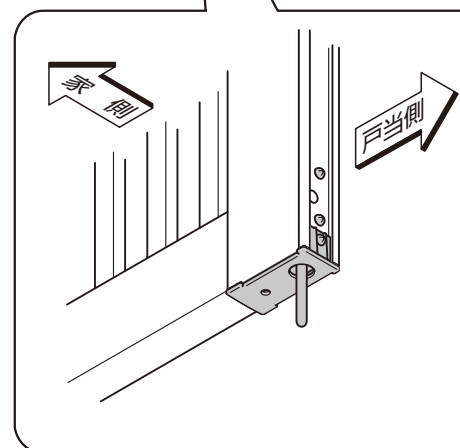
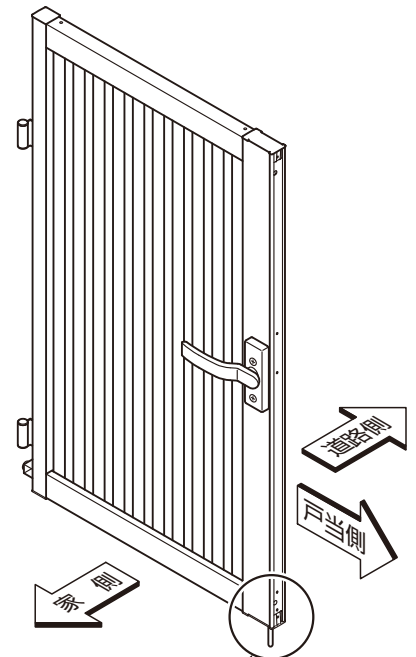


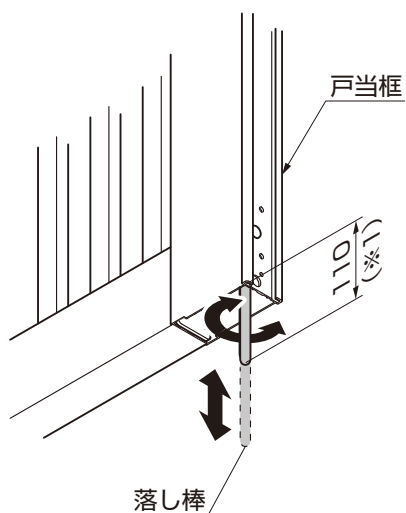
図4-3

- ①「框キャップ固定ネジ」を戸当枠キャップ下から取外してください。(図4-1参照)
- ②戸当枠キャップ下をスライドさせ、ツメの引っ掛かりを外しながら引き抜いてください。(図4-1、4-2参照)
- ③「落とし棒ガイド固定ネジ」を取外し、落とし棒ガイドを取外してください。(図4-3参照)





## 4-2 落とし棒の調整



- ① 把手が横を向いていることを確認し、落とし棒を回して飛び出し寸法が110mm(※1)になるように、調整してください。

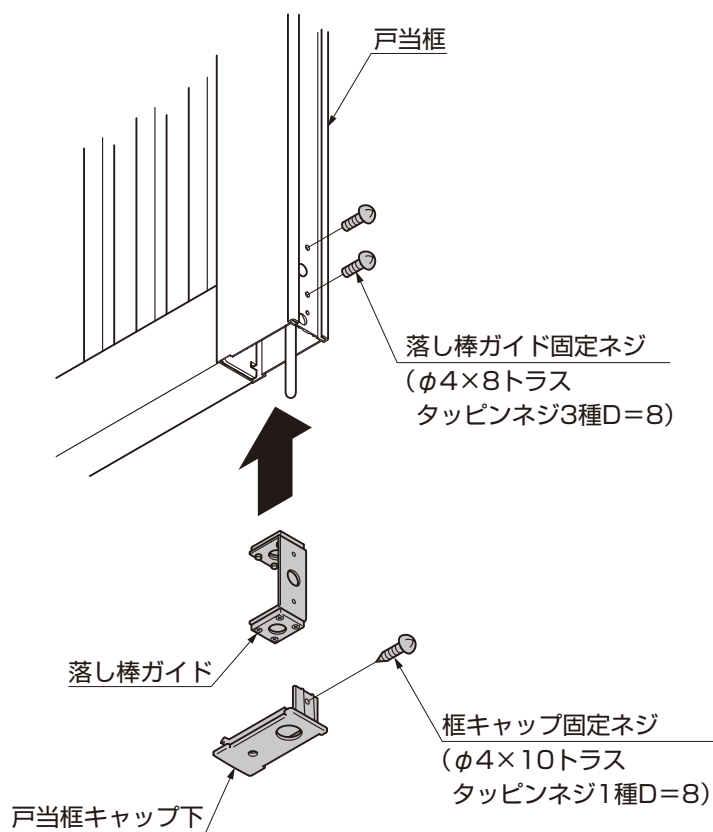
### 補足

- 落とし棒を回しすぎると外れます。
- 落とし棒は反時計回りに回すと短くなり、時計回りに回すと長くなります。
- 落とし棒の飛び出し寸法は下棧の下から150mm～85mmの範囲で調節できます。

### ポイント

- 落とし棒のかかり寸法が20mmあることを確認してください。

## 4-3 調整の後に

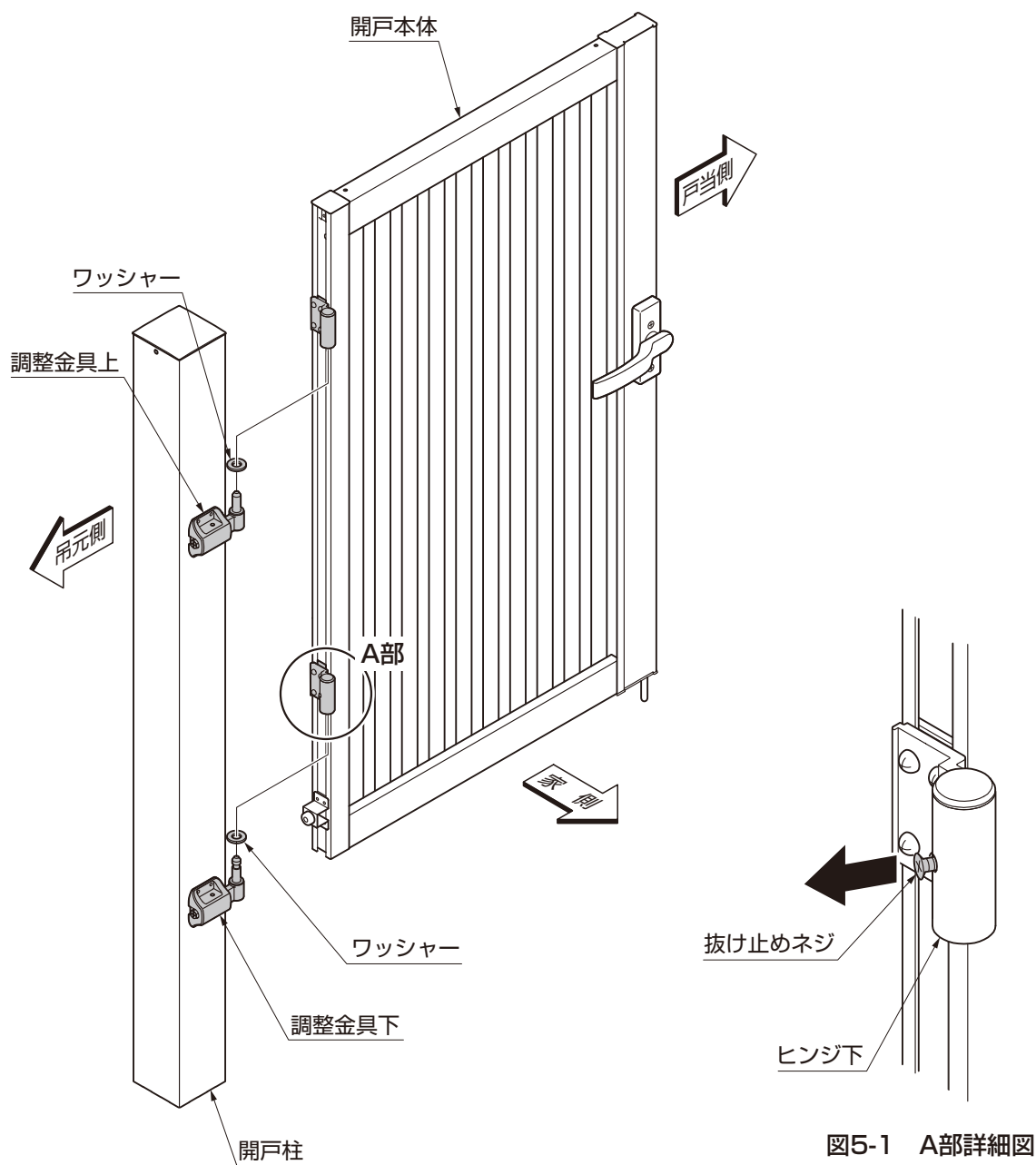


- ① 落とし棒ガイドを「落とし棒ガイド固定ネジ」で取付けてください。
- ② 戸当框キャップ下を「枠キャップ固定ネジ」で取付けてください。

### ポイント

- 枠キャップ下の取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。

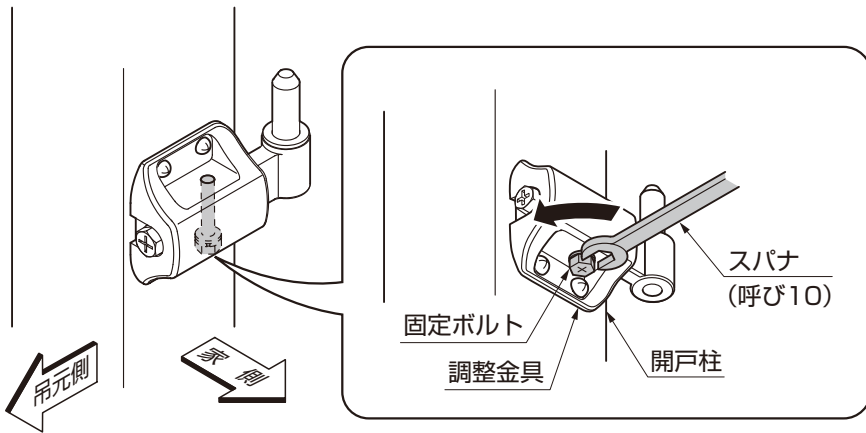
## 5. 開戸本体の吊り込み



- ①「抜け止めネジ」をゆるめてください。(図5-1参照)
- ②開戸柱に同梱のワッシャーを、調整金具上と調整金具下のシャフトに取り付けてください。
- ③ヒンジを調整金具シャフトに差込んで開戸本体を吊り込んでください。
- ④「抜け止めネジ」を締付けてください。

## 6. 調整金具の調整方法

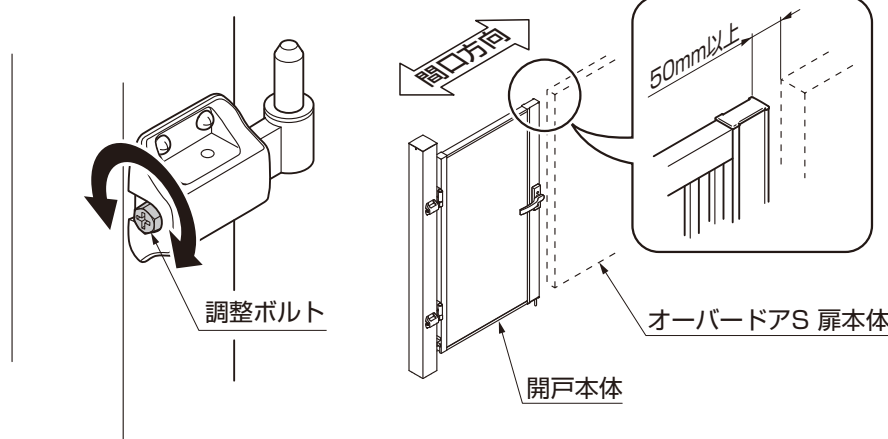
※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。  
 ※図は調整金具上を示します。



①「固定ボルト」を呼び10のスパナでゆるめてください。

### ポイント

●「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「固定ボルト」が破損します。



②「調整ボルト」をまわして、開戸本体とオーバードアS扉本体のチリ寸法を50mm以上に調整してください。(図6-1参照)

図6-1 間口方向の調整

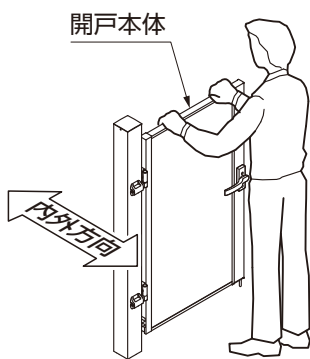


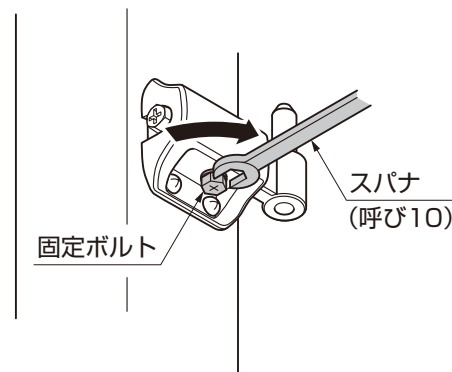
表6-1 調整範囲

内外方向	±4.5mm
間口方向	±5mm

③開戸本体を手でつかみ、内外寸法を調整してください。(図6-2参照)

### 補足

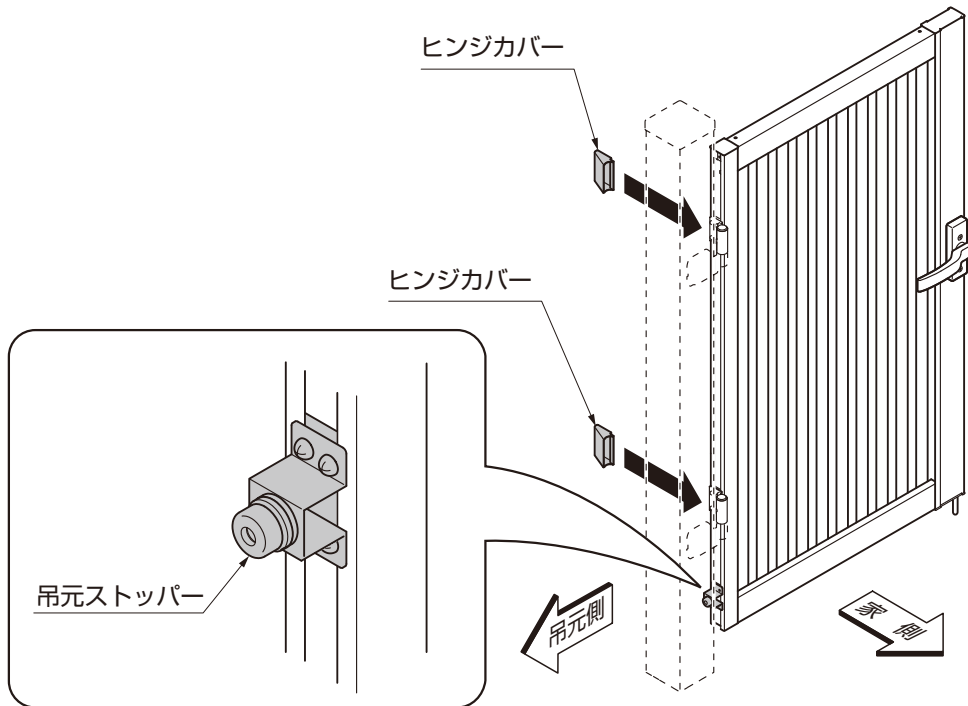
●調整範囲は表6-1を参照してください。



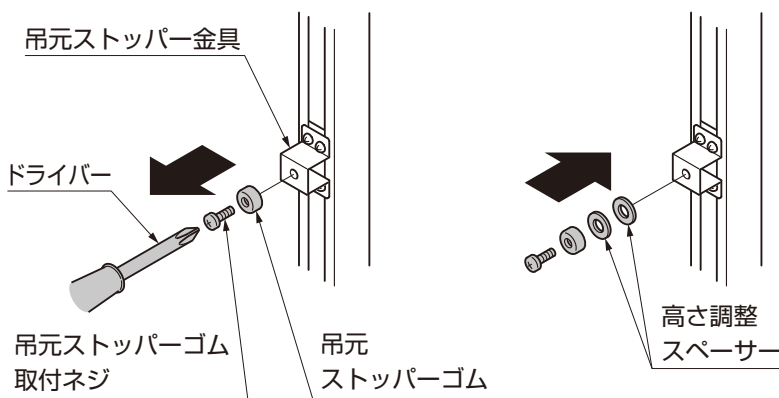
④「固定ボルト」を呼び10のスパナで締付けてください。

図6-2 内外方向の調整

## 7. 吊元ストッパーの調整とヒンジカバーの取付け



### (1) 吊元ストッパーの調整

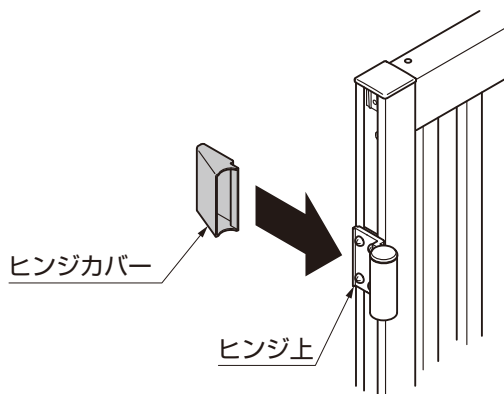


- ①吊元ストッパーゴムを吊元ストッパー金具から取外してください。
- ②高さ調整スペーサーを取付け、吊元ストッパーゴムの高さを調整してください。

#### 補足

- 高さ調整スペーサーは厚さ2mmです。+0mm～+10mmまで高さ調整可能です。

### (2) ヒンジカバーの取付け



- ①ヒンジカバーをヒンジにはめ込んでください。

#### 補足

- ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

## 8. 落とし棒受けの施工

落とし棒受け (全閉用)

吊元側

家側

落とし棒受け (全開用)

基礎

落とし棒受け

150 (\*1)

150 (\*1)

150 (\*1)

48

26

G.L.

3

37

図8-1 基礎寸法

①開戸本体を開いた状態と閉じた状態で落とし棒を取める位置に、落とし棒受けを施工してください。

**ポイント**

- 落とし棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※1)

## 9. 蓄光リングの交換 ※蓄光リングを交換する場合の作業です。

レバー錠

レバー錠

錠固定ネジ (M5×45サラ小ネジ)

シリンダーキー

蓄光リング (\*1)

シリンダー組付ネジ (M3×6ナベ小ネジ)

シリンダー

キー穴

シリンダー

キー穴

シリンダー

図9-1 シリンダー取付時キー穴の正しい位置

①「錠固定ネジ」をレバー錠から取外し、レバー錠を戸当框から取外してください。

②錠台座裏面の「シリンダー組付ネジ」を取外し、シリンダーを取外してください。

③蓄光リングを交換してください。

④シリンダーを「シリンダー組付ネジ」で元のように取付けてください。

⑤レバー錠を「錠固定ネジ」で戸当框に元のように取付けてください。

**補足**

- 蓄光リング取付時は、蓄光リングの向きに注意してください。(※1)
- シリンダー取付時は、キー穴の向きに注意してください。(図9-1参照)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

**D520**

JZZ621763C  
201101A\_1039  
201607D\_1039